津の企業

井村屋製菓株式会社

◇みんな大好き井村屋さん

「肉まん・あんまん」「あずきバー」「水ようかん」……と、商品名が次々に思い浮かび、「私はミルク金時が好き」、「僕のお気に入りはカレーまん」と、思わず話も盛り上がる。

今回は多くの人に愛される商品を生み出す「井村屋製菓株式会社」を紹介する。

◇明治時代、松阪で創業

1896年（明治29）、井村和蔵さんが、現在の松阪市中町で、ようかんなど和菓子の製造を始めたのが同社のルーツ。

その後、1947年（昭和22）に「株式会社井村屋」を設立。翌年、津市小森町の海軍工廠（こうしょう）の跡地に工場を建設。この頃の主要商品には、何とビスケット！ 他に、キャラメルや乾パン、チューインガムなども作られていたという。

以来、同社の中心は津となり、全国展開。さらに和菓子を世界にも広げようと、中国、米国へも進出している。

imurayaギャラリー

あずきバーの生産ライン

◇多彩な事業を展開

同社の事業は8部門に分かれている。

創業以来、同社の核となってきたようかんの「菓子」、ゆであずきの「食品」、オリジナリティあふれるアイスが人気の「冷菓」、同社の代名詞とも言われる肉まん・あんまんの「加温」、買い置きOKの充てん豆腐の「デイリーチルド」は、なじみ深いところだ。この他、昨年9月からの新事業「冷凍菓子」、野菜エキスを基本とした「調味料」、関東で展開するアメリカンフード&スイーツのレストラン「アンナミラーズ」、南フランス・プロヴァンスの洋菓子とショコラの「ジュヴォー」を運営する「フードサービス」からも目が離せない。

◇毎月1日はあずきの日・7月1日は井村屋あずきバーの日

夏の定番「あずきバー」は、1972年に誕生以来、無香料、無着色を守り、昔からの製法で作り続けるヒット商品。7～8月には、アイスキャンディ売上高日本一を記録。昨年は年間の売り上げ本数が、2億本近いという。

2007年、日本記念日協会より、毎月1日は「あずきの日」、7月1日が「井村屋あずきバーの日」として認定された。古くから毎月1日にあずきを食べる習慣があったことと、暑さが増す7月の初日に、夏に健康によいあずきを使ったあずきバーを食べて元気になってもらいたいとの願いからだ。

◇BOXあずきバー発売30周年！

今年は、1979年に発売された「BOXあずきバー」の30周年に当たるため、現在、「選べる、しあわせ色いろ・プレゼントキャンペーン」を実施中。箱についている「アズキングマーク」を集めて応募すると、ペア宿泊券、デジタルカメラなどが当たる。締切は9月30日まで。（詳細はHPを）

◇楽しい商品、優れたサービス

安全安心な食品作りを第一に、和と自然の味を食に生かし、楽しさと健康に寄与する食メーカーをビジョンにする同社。これからも楽しい商品、優れたサービスを提案してくれるだろう。

◇会社概要

社名　井村屋製菓株式会社
資本金　22億5390万円
従業員数　六百三十人
住所　津市高茶屋7丁目1番1号
電話　059（234）2131